

科目名(英訳)	技術経営論(Management of Technology) (MNG-39050J2)				
担当教員	ウ アテイ	対象学年	学部3年次	単位数	2単位
科目区分	講義 選択II	受講人数	なし	開講時期	後期
キーワード	技術経営、技術イノベーション、経営戦略、価値創造				
授業の概要・達成目標	<p><授業の概要></p> <p>昨今、高い技術力による性能のよい製品をつくる日本の製造業は、グローバル経済において競争劣位の状況である。その理由は、技術経営的な戦略が明確でないと考えられている。本授業では、技術経営の基礎的な概念・理論を学び、それらを現実にどのように適用できるかを理解する。この授業では、国内外の主要製造業の事例研究から、将来の日本製造業の競争優位について考える。</p> <p><到達目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術経営の基礎的な概念・理論を理解する。 ・受講生の専門分野(工学)的な視点から企業の経営を考える能力を身につけ 				
授業内容	<p>第1回. MOT(Management of Technology)とは</p> <p>第2回. MOTにおける価値創造と価値獲得(1)</p> <p>第3回. MOTにおける価値創造と価値獲得(2)</p> <p>第4回. MOTにおける価値創造と価値獲得(3)</p> <p>第5回. コア技術戦略とイノベーション(1)</p> <p>第6回. コア技術戦略とイノベーション(2)</p> <p>第7回. コア技術戦略とイノベーション(3)</p> <p>第8回. 組織構造とマネジメント(1)</p> <p>第9回. 組織構造とマネジメント(2)</p> <p>第10回. 組織構造とマネジメント(3)</p> <p>第11回. 組織構造とマネジメント(4)</p> <p>第12回. 事業システムと顧客価値創造(1)</p> <p>第13回. 事業システムと顧客価値創造(2)</p> <p>第14回. 事業システムと顧客価値創造(3)</p> <p>第15回. まとめ</p>				
授業形式・形態及び授業方法	講師オリジナルの講義資料を使用し講義形式で行う。毎回授業の最後に簡単なレポートを提出してもらう。				
教材・教科書	講師オリジナルの講義資料を毎回配布する。				
参考文献	講義でその都度紹介する。				
成績評価方法及び評価基準	11回以上出席した学生のみ成績判定を行う。講義・ディスカッションの参画50点、チームワークレポート50点で、合計60点以上の得点で合格とする。				
必要な授業外学修履修上の注意	必要に応じて授業で解説したフレームワークに基づき個人学習を行ってもらおう。				
関連科目(発展科目)	経営マネジメント学、技術イノベーション論、マーケティング論、ベンチャー企業論	実務家教員担当	×		
その他	学習・教育目標	-			
	連絡先・オフィスアワー	ウ アテイ教員室(3号館5階)、電話:0157-26-9400 メール:yuyating@mail.kitami-it.ac.jp			
	コメント	-			